

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学医学部海外選択実習の学修成果およびプログラムに関する検討

1. 研究の対象および研究対象期間

本研究は、2023 年 1 月から 2027 年 6 月の期間で、昭和大学医学部診療参加型臨床実習において海外選択実習を実施した昭和医科大学医学部の 5・6 年生の学生の方

2. 研究目的・方法

背景・目的：日本社会において近年グローバル化が求められているのに合わせ、医学教育の世界でもグローバル化が求められています。それに合わせ昭和医科大学医学部では 2020 年度のカリキュラム改変以降、①国際的視野を持ち、②海外の医療者と積極的に交流する意欲を有し、③臨床において海外で活躍するだけでなく研究においても自身の見出した新しい医学情報を世界に発信する意欲と能力を身に着けた医師育成のために国際化教育を強固に展開しています。その一環として 5 年 1 月から 6 年 6 月までの診療参加型臨床実習（選択制）では約 1 ヶ月間の海外実習（海外選択実習）を選択することが可能となっています。特に海外選択実習は海外の臨床現場で実習ができる貴重な機会のため、国際化教育の中でも強く推奨しています。またコロナ禍で実習が中止になった時期を除き、毎年 15～20 ほどの学生が海外選択実習を行ってきましたが、2020 年度以降のカリキュラムで学んだ学生が海外選択実習を希望する時期となり、今後希望者の数が増加すると予想されます。これまでの学生の実習満足度は先行研究では 90% を超える学生が、海外選択実習に満足したと回答をしている一方で、学修成果については英語での専門的コミュニケーションやプレゼンテーション力不足を実感した学生も見られました。

これらの背景を踏まえ、海外選択実習で学生がより良い学修成果を得られるようにプログラムのさらなる改善が必要と考えられます。

そこで本研究では①海外選択実習の現状を把握と②学生の学修効果の評価を行い、それらに基づき③プログラムの改善を実施し、その後④再度学生の学修効果の評価を行いプログラム改善の効果を検証して希望者の増加に対処し、海外選択実習で学生がより良い学修成果を得られるプログラムの構築を目的としています。

前述の①②については 2023 年 1 月から 2025 年 6 月までに海外選択実習を実施した学生が既に提出した

実習成果報告書から満足度および学修成果を後ろ向きに調査し、

④については2026年1月から2027年6月までに海外選択実習を実施する学生が今後提出する実習成果報告書を前向きに調査し検討いたします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

調査項目は実習成果報告書にある以下の項目です。

氏名、性別、研修地域、施設名、実習期間、診療科・部門、研修先を選択した理由、研修内容（内容、スケジュール、受け入れ状況、よかった点、改善して欲しい点、研修目標および達成度、研修成果、研修満足度、渡航前の準備、海外選択実習に向けての語学の準備について、留学中の滞在先について、費用

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 国際交流センター 古田 厚子

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 国際交流センター 氏名：古田 厚子

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8266